

令和7年度  
工学部第3年次編入学  
学生募集要項

令和6年3月



## 日 程 概 要

区 分 項 目	推 薦 選 抜			一 般 選 抜
	学校推薦	自己推薦	地域貢献枠推薦	
出願期間	令和6年 4月18日(木)～ 4月25日(木)			令和6年 6月13日(木)～ 6月20日(木)
選考日	令和6年 5月11日(土)			令和6年 7月6日(土)
合格者発表	令和6年 5月29日(水)			令和6年 7月31日(水)
意思確認書 提出期限	---			令和6年 8月8日(木)

※第3年次編入学の一般選抜において、入学手続完了者が定員に達しない場合は、入学手続期間終了後より合格者を追加します。追加合格によっても、なお入学定員に欠員が生じた場合には、第2次学生募集を行うことがあります。その場合は、令和6年9月以降に発表する第2次学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

## 目 次

I	工学部アドミッション・ポリシー	1
II	募集人員	5
III	入学時期及び修学条件	5
IV	出願資格	6
V	出願期間	8
VI	出願手続	9
VII	選抜方法等	13
VIII	合格者発表	15
IX	入学手続等	15
X	欠員補充の方法	15
X I	障がいのある入学志願者等の事前相談	15
X II	個人情報の利用	16
X III	入学志願者のための案内	16

### <注意>

- ・ 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・ 受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。  
[ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・ 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

# I 工学部アドミッション・ポリシー

## (1) 工学部で養成する人材像

工学部では、「安全で安心な社会の創造」に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。この方針のもと、人材養成の基本コンセプトとして「グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者“グローバルイマジニア”の育成」を掲げ、安全で安心な社会の創造のための知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力、さらに歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を備えた高度専門技術者を養成します。

各学科では、以下のような人材を養成します。

機械・システム工学科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造や原子力の安全性向上に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成します。
電気電子情報工学科	電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学の学問分野を広くカバーするカリキュラムにより、電気系、情報系の学問基礎の体系的な修得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成します。
建築・都市環境工学科	建築学と土木工学の基礎を修め、社会基盤施設の維持・管理、国土の強靱化、少子高齢化社会への対応、環境調和型の生活空間の構築等の課題に真摯に取り組み、安全・安心で快適な社会生活環境の実現に貢献できる実践力ある人材を養成します。
物質・生命化学科	高性能・高機能な材料・繊維の創製に向けた教育・研究、化学製品の合成・開発・利用を指向した物質の探求、医学・農学と工学の融合分野への応用を目指したバイオテクノロジー教育などを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成します。
応用物理学科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに、総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び、課題解決につなげる力、グローバルな行動力、倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成します。

## (2) 求める学生像

### (2-1) 求める学生像

工学部では、養成する人材像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

1. グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有する人
2. 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人
3. 正確な文章読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
4. 豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有し，柔軟な発想力をもって課題解決に向け主体的に行動できる人

特に，各学科では以下のような入学者を求めます。

機械・システム工学科	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ものづくりに興味があり，機械工学・ロボティクス・原子力安全工学の基礎となる数学や理科が好きな人</li><li>2. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学に関する専門的な知識を身につけたい人</li><li>3. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学のエンジニアとして，ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人</li><li>4. ダイバーシティ（多様性）を尊重し，全ての人活躍できる社会の構築に，エンジニアとして貢献する意欲を有する人</li></ol>
電気電子情報工学科	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 電気・電子・情報分野を伝承するとともに，新たな創造に挑戦したい人</li><li>2. 電気，電子，コンピュータを学ぶための数学や物理が好きな人</li><li>3. 論理的思考力を問題解決に活かしたい人</li></ol>
建築・都市環境工学科	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 建物のデザインや安全性，建築環境の改善や創造に興味を持つ人</li><li>2. 社会基盤や都市のデザイン，安全性，都市環境の改善や創造に興味を持つ人</li></ol>
物質・生命化学科	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 物質や生命の不思議にワクワクする人</li><li>2. 創造する化学にチャレンジしたい人</li><li>3. 新素材，繊維，バイオに興味がある人</li></ol>
応用物理学科	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 物理や数学に基づいて，ものごとを基本に戻って考える能力を有する人</li><li>2. 先端科学技術分野への強い興味を持つ人</li><li>3. ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有している人</li></ol>

### (2-2) 入学までに学習しておくことが期待される内容

工学部では、高等学校段階までの数学や理科に関する基礎学力が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、それら以外の教科に関する知識も、ものごとを多面的にとらえ、専門知識を「安全で安心な社会の創造」に結び付けるための基礎となります。これらのことから、高等学校段階では、数学や理科はもちろん、それ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

### (3) 入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、一般選抜（前期日程，後期日程），学校推薦型選抜Ⅰ，総合型選抜Ⅱ，私費外国人留学生選抜，第3年次編入学試験を実施します。それぞれの選抜においては，求める学習成果を踏まえ，志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### 【第3年次編入学試験】

工学部3年次に編入学後の学修に必要な能力・意欲・適性等を評価・判定します。

#### <推薦選抜>

全 学 科 共 通	面接（口述試験を含む）及び出願書類により，編入学後の学修に必要な学力，学習意欲，適性，チャレンジ精神等を総合的に評価・判定します。
建築・都市環境工学科 （地域貢献枠）	課題についてのプレゼンテーション，面接（口述試験を含む）及び出願書類により，編入学後の学修に必要な学力，学習意欲，適性，チャレンジ精神等を総合的に評価・判定します。

#### <一般選抜>

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科	学力検査，面接（口述試験を含む）及び出願書類により，編入学後の学修に必要な学力，学習意欲，適性，チャレンジ精神等を総合的に評価・判定します。
物質・生命化学科 応用物理学科	面接（口述試験を含む）及び出願書類により，編入学後の学修に必要な学力，学習意欲，適性，チャレンジ精神等を総合的に評価・判定します。

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。多面的・総合的な評価・判定を行うにあたり重視するものに○を付しています。ただし、○を付していないものでも、その評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協調性
求める学習成果 ※第3年次編入学を希望する者には、右記に加え、編入学後の学修に必要な学力や主体的に学ぶ態度を有していることが求められます。		・高等学校段階までに学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能 ・工学部における学修の基礎である数学や理科に関する知識・技能	・左記の知識・技能を課題の解決につなげるための思考力・判断力・表現力	・志望する学科の専門分野に対する強い興味 ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
第3年次編入学試験 (推薦選抜)	全学科	<input type="radio"/> 成績証明書 <input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む) <input type="radio"/> 推薦書 (自己推薦, 地域貢献 枠推薦)	推薦書 (学校推薦, 自己推薦, 地域 貢献枠推薦) <input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む) <input type="radio"/> プレゼンテーション (ACの地域 貢献枠のみ)
第3年次編入学試験 (一般選抜)	MS	<input type="radio"/> 成績証明書 <input type="radio"/> 学力検査 <input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)
	EI	<input type="radio"/> 成績証明書 <input type="radio"/> 学力検査 <input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)
	AC	<input type="radio"/> 成績証明書 <input type="radio"/> 学力検査 <input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)
	MB AP	<input type="radio"/> 成績証明書 <input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)	<input type="radio"/> 面接 (口述試験を含む)

MS:機械・システム工学科, EI:電気電子情報工学科, AC:建築・都市環境工学科, MB:物質・生命化学科, AP:応用物理学科

## II 募集人員

学 科・コース		推 薦 選 抜			一 般 選 抜
		学校 推薦	自己 推薦	地域貢献枠 推薦	
機械・システム 工学科	機械工学コース	2名	若干名	若干名	2名
	ロボティクスコース	2名	若干名	若干名	2名
	原子力安全工学コース	1名	若干名	若干名	1名
電気電子情報 工学科	電子物性工学コース	5名	若干名	若干名	5名
	電気通信システム工学コース				
	情報工学コース	5名	若干名	若干名	5名
建築・都市環境工学科		3名	若干名	若干名	7名
物質・生命化学科		若干名	若干名	若干名	若干名
応用物理学科		若干名	若干名	若干名	若干名

## III 入学時期及び修学条件

### (1) 編入学時期及び編入学年

令和7年4月に、第3年次へ編入学となります。

### (2) 単位認定及び卒業要件

単位認定は、出身学校等での修得内容（シラバスで内容を精査する。）に基づき授業科目別に行い、共通教育科目と専門教育科目を合わせて76単位を上限とします。

また、編入学した者は、所定のカリキュラムに従って卒業に必要な単位を修得（学科により修得すべき授業科目が異なります。）することになりますが、認定された単位数によっては、2年間で卒業できないこともあります。

なお、卒業要件単位数は、各学科とも124単位以上（専門教育科目96単位以上、共通教育科目28単位）です。

本学のカリキュラムは、工学部・工学研究科ホームページ等で確認することができますので、参考としてください。

「工学部・工学研究科ホームページ」

<https://www.eng.u-fukui.ac.jp/>

「シラバス検索システム」

<https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp>

## IV 出願資格

### 推薦選抜

#### 推薦共通

- ・志望学科は、出身学校において専攻している学科と同系列<sup>(注①)</sup>であること。
- ・他大学へ重複して推薦されておらず、合格した場合には入学を確約できる者

#### 1. 学校推薦

- (1) 高等専門学校又は短期大学（建築・都市環境工学科のみ対象）を令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 人物・学力がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者

#### 2. 自己推薦

次の各号のいずれかに該当することにより、自分自身を強くアピールすることができ、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めたい修学意欲があり、かつ、高等専門学校を令和7年3月までに卒業見込みの者

- (1) 理数系科目又は志望する学科に関連する専門教育科目の学力に優れた者
- (2) “ものづくり”に関連した自作活動や各種コンテスト等において、各種団体、第三者機関、学校等で表彰を受けた者、又はこれらの活動チームの統率や、技術スタッフとして運営に積極的に携わった者<sup>(注②)</sup>
- (3) 修学生活における様々な諸活動において、集団の統率や、スタッフとして運営に積極的に携わった者<sup>(注③)</sup>
- (4) 本学工学部及び大学院工学研究科における教育研究に強い関心と意欲がある者

#### 3. 地域貢献枠推薦

次のⅠの各号のいずれかに該当し、卒業後は福井県内に就職又は本学大学院工学研究科に進学し地域社会に貢献しようとする強い意志があり、かつⅡの各号のいずれかに該当する者

Ⅰ (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和7年3月までに卒業見込みの者

(2) 大学を卒業した者又は令和7年3月までに卒業見込みの者

(3) 大学に2年以上（休学期間は除く）在学し（令和7年3月をもって2年間在学となる者を含む。）、62単位以上<sup>(注④)</sup>を修得した者又は令和7年3月までに修得見込みの者。なお、所定の単位を修得見込みの者が、令和7年3月までに修得できなかった場合には、合格を取り消します。

(4) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者である場合は、本学において、大学における2年の課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者<sup>(注⑤)</sup>

(5) 短期大学を卒業した者又は令和7年3月までに卒業見込みの者

(6) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準<sup>(注⑥)</sup>を満たすものを修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者〔学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。〕

(7) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者<sup>(注⑦)</sup>

(8) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準<sup>(注⑧)</sup>を満たすものを修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者〔学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。〕

- Ⅱ(1) 志望する学科に関連する専門教育科目の学力に優れた者で、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めることで、地域の活性化に貢献し、その成果を社会に役立てる意欲のある者
- (2) “地域貢献”に関連した活動等において、各種団体、第三者機関、学校等で表彰を受けた者、又はこれらの活動の技術スタッフとして運営に積極的に携わった者<sup>(注⑨)</sup>
- (3) 本学工学部及び大学院工学研究科における教育研究に強い関心と意欲がある者

注①：同系列と判断し難い学科の場合は、出願前に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。  
**機械・システム工学科へは、情報系、機械系、電気・電子系の学科から出願が可能です。**  
**応用物理学科の出願は、系列を問いません。**

- ②：“ものづくり”に関連した自作活動や各種コンテスト等
- ・自作活動：機械・電気等を用いた工作物、設計・製図、デザイン、コンピュータプログラム・Web ページ等デジタルコンテンツ など
  - ・各種コンテスト：ロボコン、プロコン、デザコン、プレコン など
  - ・各種資格・検定等：情報処理技術者試験、デジタル技術検定 など
  - ・その他、“ものづくり”に関連する各種団体や学校等における取組、諸活動等
- ③：修学生活における様々な諸活動
- ・高等専門学校等における寮生会、学校祭実行委員会 など
- ④：「62 単位以上」とは、出願資格としての必要単位です。  
 入学前に修得した単位については、本学部の定める基準により個々に認定します。
- ⑤：出願資格(4)によって出願する者は出願資格等を確認するので、  
 出願期間開始 10 日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。
- ⑥：「文部科学大臣の定める基準」とは、  
 「修業年限が 2 年以上、総授業時数が 1700 時間以上又は 62 単位以上であるもの」です。
- ⑦：出願資格(7)によって出願する者は、出願資格等を確認するので、  
 出願期間開始 10 日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。
- ⑧：「文部科学大臣の定める基準」とは、  
 「修業年限が 2 年以上であり、かつ、課程の修了に必要な総単位数その他の事項が、別に定める基準（平成 28 年 3 月 30 日文部科学省告示第 63 号及び 64 号）を満たすものであること」です。
- ⑨：“地域貢献”に関連した活動等
- ・地域社会の支援、地域産業（工業技術等）との共同研究活動、環境保全活動、住民の生活支援などのボランティア活動

## 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和 7 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 大学を卒業した者又は令和 7 年 3 月までに卒業見込みの者
- (3) 大学に 2 年以上（休学期間は除く）在学し（令和 7 年 3 月をもって 2 年間在学となる者を含む。）、62 単位以上<sup>(注1)</sup>を修得した者又は令和 7 年 3 月までに修得見込みの者  
 なお、所定の単位を修得見込みの者が、令和 7 年 3 月までに修得できなかった場合には、合格を取り消します。
- (4) 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者である場合は、本学において、大学における 2 年の課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者<sup>(注2)</sup>
- (5) 短期大学を卒業した者又は令和 7 年 3 月までに卒業見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準<sup>(注3)</sup>を満たすものを修了した者又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの者〔学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。〕
- (7) 外国において、学校教育における 14 年以上の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの者<sup>(注4)</sup>
- (8) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準<sup>(注5)</sup>を満たすものを修了した者又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの者〔学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。〕

- 注1. 「62単位以上」とは、出願資格としての必要単位です。入学前に修得した単位については、本学部の定める基準により個々に認定します。
2. 出願資格(4)によって出願する者は出願資格等を確認するので、出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。
  3. 「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上、総授業時数が1700時間以上又は62単位以上であるもの」です。
  4. 出願資格(7)によって出願する者は出願資格等を確認するので、出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。
  5. 「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上であり、かつ、課程の修了に必要な総単位数その他の事項が、別に定める基準(平成28年3月30日文部科学省告示第63号及び64号)を満たすものであること」です。

## V 出願期間

**推薦選抜** (1. 学校推薦 , 2. 自己推薦 及び 3. 地域貢献枠推薦)

令和6年 4月18日(木) ~ 4月25日(木) 16時必着

**一般選抜**

令和6年 6月13日(木) ~ 6月20日(木) 16時必着

## VI 出願手続

出願手続は、インターネット出願システムでの出願情報入力及び検定料の支払を行った後、必要な書類等を郵送することにより、出願完了となります。

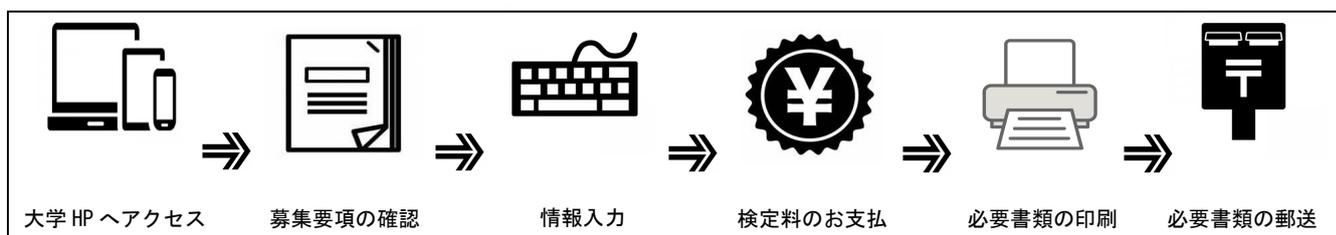
- ① 出願書類等は市販の角型2封筒(240mm×332mm)に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、本学入試課へ郵送(簡易書留速達)するものとし、出願期間最終日の16時までまでに必着するよう十分配慮し送付してください。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち出願期間最終日の2日以前の発信局日付印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。

提出先 〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

- ② 郵便局で交付される簡易書留郵便受領証等は、大切に保管してください。

### 1. 出願方法

○インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記①～④のすべての手続きが必要です。

- ① インターネットによる出願情報の入力

インターネットサイトへは、福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) アクセスできます。

「受験生の方へ」→「入学者選抜インターネット出願」→「インターネット出願サイト URL (<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-fukui/>)」→「出願手続き・検定料のお支払い」

出願情報入力可能期間

推薦選抜：令和6年4月11日(木)9:00～4月25日(木)16:00

一般選抜：令和6年6月6日(木)9:00～6月20日(木)16:00

\*出願期間とは異なります。

- ② 検定料の支払

検定料 30,000円

詳細は、12ページの「3. 検定料の支払方法」を参照してください。

- ③ 必要書類等の印刷

- ④ 必要書類等の郵送

(注) インターネット出願は、インターネットでの情報入力及び検定料の支払を行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、10ページから11ページの提出書類を郵送(必着)することで完了となります。

## 2. 出願書類等

### ①インターネット出願サイトから印刷するもの

出願書類等	推薦			一般	留意事項等
	学校推薦	自己推薦	地域貢献枠推薦		
出願確認票（提出用）		○			インターネット出願情報入力後，申込確認ページより A4 サイズでカラー印刷し，提出してください。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 <b>出願確認票は，検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了していないと印刷できません。</b>
出願封筒用宛て名ラベル		○			インターネット出願情報入力後，申込確認ページより A4 サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。また，出願後受信場所が変更となった場合は，速やかに連絡してください。封筒は，市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を使用し，簡易書留速達で郵送してください。

### ②インターネット出願サイトでアップロード作業が必要なもの

出願書類等	推薦			一般	留意事項等
	学校推薦	自己推薦	地域貢献枠推薦		
証明写真データ		○			インターネット出願情報入力及び検定料支払後，情報入力完了メールに記載されている URL から，志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 注）志願者本人と判別できるもので，カラー・上半身無帽・正面向き・無背景・直近 3 か月以内に撮影した 100KB～5MB の jpg 又は png 形式のデータを使用してください。

### ③その他必要な提出書類

書類等	推薦			一般	摘要
	学校推薦	自己推薦	地域貢献枠推薦		
推薦書（学校推薦）	○				<b>学校推薦</b> 本学ホームページ（ <a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a> ）「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式を A4 サイズで両面印刷の上，出身学校長が作成し厳封したもの。 ※出願確認票に記載された受験番号を，記載してください。
推薦書（自己推薦）		○			<b>自己推薦</b> 本学ホームページ（ <a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a> ）「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式を A4 サイズで両面印刷の上，自己 PR，自己評価を記述してください。 ※出願確認票に記載された受験番号を，記載してください。

推薦書 (地域貢献枠推薦)		○	<p><b>地域貢献枠推薦</b>          本学ホームページ (<a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a>) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面印刷の上、自己PR(地域貢献活動等)、自己評価を記述してください。  <b>※出願確認票に記載された受験番号を、記載してください。</b></p>	
成績証明書		○	<p>出身学校長が作成し厳封したもの。          履修中の科目も記載し、その評価欄には履修中である旨を明記すること。</p>	
卒業(見込)証明書		○	<p>出身学校長が作成したもの。  <b>成績証明書に卒業見込の記載があれば、提出不要です。</b>  <b>地域貢献枠推薦</b>出願資格I(3)の者及び<b>一般選抜</b>出願資格(3)の者は、在学期間証明書(本学ホームページ(<a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a>)「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷の上)を提出してください。</p>	
その他資格等を証明する書類		○	○	<p><b>自己推薦及び地域貢献枠推薦</b>          出願資格に関して、これを証明できる書類等があれば、そのコピーを提出してください。</p> <p><b>地域貢献枠推薦及び一般選抜</b>出願資格(6)の者          在籍している専修学校の専門課程が出願資格(6)の基準を満たしていることの証明書(教育内容等が記載されているもの(履修案内等)も添付してください。)          例・修業年限が2年以上、総授業時数が1700時間以上又は62単位以上の専門課程を修了したことを証明するもの          ・平成6年6月21日文部省告示第84号の規定により専門士の称号の付与が認められた課程であることを証明するもの</p> <p><b>地域貢献枠推薦及び一般選抜</b>出願資格(7)の者          外国語により作成された書類には、必ず日本語の訳文を添付してください。</p> <p><b>地域貢献枠推薦及び一般選抜</b>出願資格(8)の者          在籍している高等学校等の専攻科の課程が出願資格(8)の基準を満たしていることの証明書(教育内容等が記載されているもの(履修案内等)も添付してください。)          例・修業年限2年以上で、かつ、平成28年3月30日文部科学省告示第63号及び64号の規定により編入学の基準を満たしている専攻科の課程を修了したことを証明するもの</p>
該当者	住民票	○	<p>本邦在留の外国人は、市区町村長発行の住民票(本人に係るすべての事項を証明したもの)を提出してください(コピー不可)。海外住居者は、住民票の代わりにパスポートのコピー(姓名、国籍及び在留資格が記載されたページ)を提出してください。なお、在留資格が「留学」以外の者は、在留資格に係る承諾書(本学ホームページ(<a href="https://www.u-fukui.ac.jp/">https://www.u-fukui.ac.jp/</a>)「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷の上)を提出してください。</p>	

- 注1) 出願書類の記入にあたっては、黒のボールペン書き（消せるボールペンは使用不可）とし、文字は楷書で正確に記入してください。
- 2) 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類の返還、並びに記載事項の変更は認められません。
  - 3) 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。
  - 4) 出願書類等に偽造、虚偽記載、剽窃等、その他試験の公平性を損なう恐れのある場合は、不正行為となり、出願を認められないことがあります。また、出願受理後でも出願の取り消しや、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。なお、その場合、検定料及び入学料は返還しません。

### 3. 検定料の支払方法

- ① 検定料 30,000円  
検定料の他に、支払手数料（自己負担）が必要です。
- ② 支払期間 推薦選抜：令和6年4月11日（木）9：00～4月25日（木）  
一般選抜：令和6年6月6日（木）9：00～6月20日（木）  
※出願期間とは異なります。  
ただし、出願書類等は郵送に限り、出願期間最終日16時までに必着であることに特に注意して早めに支払ってください。
- ③ 支払方法 コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払）、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club）及びネットバンキングのいずれかで支払可能です。
- ④ 支払に際しての留意事項  
ア. 銀行窓口での支払はできません。  
イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。  
ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。  
エ. 支払手数料は、入学志願者本人の負担となります。
- ⑤ 検定料の返還に関する留意事項  
出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の検定料は返還しません。次の該当者は、速やかに本学入試課に問い合わせてください。  
ア. 検定料を支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合  
イ. 検定料を誤って二重に支払った場合  
振込先口座が、日本国外の金融機関の場合、振込手数料等は志願者の負担となります。本学に振り込まれた金額から手数料等を控除して返還します。

### 4. 受験票の印刷

推薦選抜：令和6年4月30日（火）9時

一般選抜：令和6年6月25日（火）9時

上記日時から、インターネット出願サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、A4サイズで印刷してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に間違いがある場合には、本学入試課へ連絡してください。

連絡先 0776-27-9927

## VII 選抜方法等

### 推薦選抜（1. 学校推薦，2. 自己推薦 及び 3. 地域貢献枠推薦）

面接（口述試験を含む。）及び書類審査の結果を総合して行います。

学科	期日	令和6年5月11日（土）
全 学 科		9:00～ 面接（口述試験を含む。） ※建築・都市環境工学科の地域貢献枠推薦の受験者に対しては、課題についてのプレゼンテーションと面接（口述試験を含む）を行います。 面接試験では、推薦書の記入内容に関連したプレゼンテーションを5分程度でお願いします。プレゼンテーションの形式は自由ですが、パワーポイント等を活用する場合は事前に申し出てください。

### 一般選抜

学力検査，面接（口述試験を含む。）及び書類審査の結果を総合して行います。

日程等		令和6年7月6日（土）		
学 科・コース		学力検査科目等		
機械・システム工学科	機械工学コース ロボティクスコース 原子力安全工学コース	9:00～10:30 数学	11:00～ 面接（口述試験を含む。）	
電気電子情報工学科	電子物性工学コース 電気通信システム工学コース	9:00～12:00 数学，物理	13:00～ 面接（口述試験を含む。）	
	情報工学コース	9:00～10:20 数学	12:00～ 面接（口述試験を含む。）	
建築・都市環境工学科		9:00～10:30 数学	11:00～12:30 英語	13:30～ 面接（口述試験を含む。）
物質・生命化学科		9:00～ 面接（口述試験を含む。）		
応用物理学科				

学 科	コース	学力検査科目等の内容	
機械・システム工学科	機械工学コース ロボティクスコース 原子力安全工学コース	数学	<b>【必須科目】</b> 微分積分，線形代数 <b>【選択科目】</b> 3題中1題を選択解答。 常微分方程式，確率統計， 解析学（フーリエ変換，ラプラス変換）
電気電子情報工学科	電子物性工学コース 電気通信システム工学コース	数学，物理	数学：線形代数，微分積分，ベクトル解析，微分方程式，確率統計 物理：力学，電磁気学，電気回路，電子回路 以上の内容より4題を出題。
	情報工学コース	数学	微分積分，線形代数
建築・都市環境工学科		数学	微分積分，線形代数，微分方程式

## 受験上の留意事項（共通）

- (1) 試験場 福井大学工学部 福井市文京3-9-1
- (2) 試験当日は必ず受験票を携帯し、8時から8時30分の間に総合研究棟 I 1階 総合大1講義室（裏表紙の建物配置図を参照）に集合してください。  
なお、受験者の人数により、集合時間が変わる場合には、別途お知らせします。
- (3) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。
- (4) 必要に応じて昼食を持参し、監督の指示に従い、適宜食事をしてください。
- (5) 本学が課す編入学試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。
- (6) 試験当日等に、駅や試験場周辺で合否電話等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので十分注意してください。
- (7) 受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、余裕をもって到着するように十分注意してください。万が一、風雪害、交通障害等により試験実施日時等を変更する場合は、福井大学ホームページに随時情報を掲載してお知らせします。

## 「感染症に関する注意事項について」

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻しん等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験は認められません。ただし、症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防対策を励行し、自己の健康管理を徹底するように注意してください。

なお、上記理由により受験できなかった場合、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

※感染症の状況に応じて変更する場合があります。変更となった場合は、本学ホームページの「受験者の方へ」内でお知らせします。

## 過去の入試問題の請求方法について

### (1) 来学される場合

文京キャンパス学務部入試課（学生交流センター3階）において配布します。

ただし、祝日を除く月～金曜日の9時から17時までとします。

### (2) 郵送を希望される場合

本学学務部入試課へ電子メールにより申し込んでください。

申込に際しては、件名に「編入学一般入試（〇〇学科）過去問題請求」と明記し、本文に送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いてください。ゆうメールの着払いで郵送します。

Eメール：g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

※ 過去問題の配布は3年分に限りさせていただきます。

※ 過去問題の解答は非公表となっています。

※ 請求できる過去問題は学力検査のみとします。

## VIII 合格者発表

**推薦選抜** (1. 学校推薦 , 2. 自己推薦 及び 3. 地域貢献枠推薦)

令和6年 5月29日(水) 10時

**一般選抜** 令和6年 7月31日(水) 10時

本学ホームページ(<https://www.u-fukui.ac.jp>)に合格者受験番号を発表するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。また、推薦選抜(学校推薦)の場合は、同日付けで出身学校長にも選考結果を通知します。

なお、電話やメール等による照会には一切応じません。

## IX 入学手続等

**一般選抜**合格者には、合格通知書とともに「**入学意思確認回答フォームのQRコード**」を送付しますので、QRコードを読み込むと、入学意思確認回答フォーム(Googleフォーム)が表示されるので、**令和6年8月8日(木)までに必ず回答**してください。これを回答しない者は、本学に入学する意思がないものとして取り扱います。

**一般選抜**合格者で「入学意思確認回答フォーム」により入学を確約した者及び**推薦選抜**合格者に対し、入学手続に必要な書類を**令和6年9月上旬**に送付します。

## X 欠員補充の方法

### (1) 追加合格

入学手続完了者が定員に達しない場合は、入学手続期間終了後より合格者を追加します。この場合、追加合格者には、出願確認票の「本人携帯電話」等の電話番号に連絡し、入学の意思確認を行うので、確実に連絡が取れる連絡先を記入するとともに、着信がないかどうか十分に注意してください。追加合格に係る入学手続は、該当者に直接指示します。

### (2) 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、なお入学定員に欠員が生じた場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。この募集を行う場合は、9月以降に公表します。

## XI 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学部への編入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下のとおり本学入試課(電話 0776-27-9927)に出願前申請を行ってください。

また期限後にやむを得ない事情等により申請が必要になった場合には、速やかに電話等により相談してください。

### 1. 出願前申請の期限

**推薦選抜** 令和6年 4月10日(水)まで

**一般選抜** 令和6年 5月29日(水)まで

2. 本学ホームページ(<https://www.u-fukui.ac.jp/>)「トップページ」→「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

## X II 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備（学籍管理、履修準備含む）、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- (1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- (2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）
- (3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

## X III 入学志願者のための案内

### 1. 工学部概要

福井大学工学部は、5学科からなる日本有数の大規模な工学教育研究機関です。工学の殆どの分野を網羅し、日々進化する工学にすばやく対応して、皆さんのどのような期待にも応えるでしょう。学部学生定員は525名、3年次編入学生定員40名の合計565名です。学生の50%以上が進学する大学院工学研究科は、博士前期課程3専攻、後期課程1専攻からなり、そこでは、さらに高度な世界水準の教育研究が行われています。全国各地から集まった学生の総数は、現在約3,200名に達し、同じキャンパスで、学科・専攻や学年を超え、お互いに切磋琢磨しながら楽しい大学生活を送っています。

福井大学工学部・大学院工学研究科の理念は、Global IMAGINEERの育成です。こころに夢を描き（IMAGINE）、それをかたちにしてできる技術者（ENGINEER）として社会に貢献する研究開発能力を備えた高度専門技術者を育成することです。夢を形にするためには、最先端の専門的な知識や技術を習得するだけでなく、常に自らを批判的に省み、自分の能力を高め、創造力を育む必要があります。さらに、社会に貢献するためには、広い教養を身につけ、多くの人と関わる積極性とコミュニケーション能力を磨かねばなりません。そのために工学部には色々な教育プログラムが組まれています。例えば、専攻した学科以外の学科の専門科目を自由に履修することも可能です。特に系統的に履修した場合には、その分野を副専攻としたことを認定します。また、工学部先端科学技術育成センターでは最新の設備を整え、学生が学科や学年を超えてグループを構成し、創造的・学際的なモノづくりや調査・研究プロジェクトに取り組むことを支援しています。このような本学部の教育は、大学外の専門家による評価も高く、文部科学省が全国の大学から優れた教育を選ぶ「特色ある大学教育支援プログラム」や「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」にも採択されています。

## 【工 学 部】

## 【大 学 院】

## 【大 学 院】

工学研究科博士前期課程

工学研究科博士後期課程

機械・システム工学科

産業創成工学専攻

総合創成工学専攻

電気電子情報工学科

安全社会基盤工学専攻

建築・都市環境工学科

知識社会基礎工学専攻

物質・生命化学科

応用物理学科

## ○学位及び教員免許状

工学部の卒業者は学士（工学）の学位が授与されます。また、所定の単位を修得すれば次の免許状を取得できます。ただし、編入学生の場合、2年間の在学期間では教員免許状の取得が厳しいため、教員免許状の取得を希望している場合は、出願前に必ず学務部教務課（TEL:0776-27-8027）までご相談ください。

学 科 名	高等学校1種
機械・システム工学科	工業
電気電子情報工学科	工業
建築・都市環境工学科	工業
物質・生命化学科	理科
応用物理学科	理科

## 2. 入学時の諸経費

## (1) 入学料・授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 料	282,000円 (予定額)	入学時1回限り（入学手続時に納入）
授 業 料	年額 535,800円 (予定額)	年2回（前期5月，後期11月）に分けて納入してください。 <u>入学手続時に入学料と併せて前期分267,900円又は前・後期分535,800円を一括して納入することもできます。</u> なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 入学料・授業料の減免、及び徴収猶予制度について

「大学等における修学の支援に関する法律」により、日本学生支援機構給付型奨学金受給者は、入学料・授業料の全部または一部が免除となります。

また、経済的理由や特別な事情により入学料及び授業料等の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上、入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等でお知らせします。

## (2) 傷害保険及び賠償責任保険

教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に全員が何らかの傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

本学では、学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）及び学研災付帯賠償責任保険の取り扱いがありますが、その他大学生協等で同等の傷害保険及び賠償責任保険に加入しても構いません。

## 3. 学生生活

### (1) 奨学金制度

学部・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や大学独自奨学金及び都道府県・公益法人等の奨学金制度があります。

#### ○独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金

##### <給付型>

日本学生支援機構が定める基準を満たし、奨学生に採用された場合、「高等教育の修学支援新制度」の支援を受けることができる、原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づき判定された支援区分、通学形態（自宅・自宅外）等により、支援額が決定します。

詳細は下記ホームページにて確認してください。

- ・文部科学省（高等教育の修学支援新制度）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/hutankeigen/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

- ・日本学生支援機構（奨学金の制度（給付型））

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

##### <貸与型>

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。

なお、日本学生支援機構が定める学業成績・収入基準を満たす場合には、「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。

貸与型の奨学金なので、卒業又は退学後は、必ず返還しなければなりません。

詳細は下記ホームページにて確認してください。

- ・日本学生支援機構（奨学金の制度（貸与型））

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

#### ○大学独自奨学金

福井大学生協奨学金及び福井大学学生修学支援奨学金等、大学独自の奨学金があります。詳細は大学ホームページに記載しています。

#### ○都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に随時、学内のポータルサイト等で案内します。

\*奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

学生の定期健康診断を、毎年春季に行っています。

また、日々の健康管理のため、保健管理センターがあり、身体面・精神面の健康について医師・臨床心理士・看護師・保健師に相談をすることができます。

(4) 相談窓口

履修，生活，就職，人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について，相談に応ずる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には，次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で，男女は階別）。

11 月中に大学ホームページに入居者募集要項を掲載しますので，入居希望者は内容をよく確認し，入居申請準備をしてください。

名 称	定員	新入生入居 募集人員	構 造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所 在 地
国際交流 学生宿舎	209人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建1棟 4階建2棟	1人	月額 5,800円	月額 約10,000円  退去ク リー ニング費等 約20,000円 (入居時前 払い)	福井市文京5-13-10 (文京キャンパスから 徒歩約8分)

(6) その他

よりよい学生生活のために食堂，売店，書店などの福利厚生施設があります。また，遠隔地の学生のために下宿・アパート等の紹介をしています。

詳細は，福井大学生生活協同組合（電話 0776-21-2956）にお問い合わせください。

#### 4. 令和6年度 工学部第3年次編入学試験入学者状況

学 科	コ ー ス	募集人員		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
機械・システム 工 学 科	機械工学コース	学校推薦	2名	2	2	2	2
		自己推薦	若干名	0	0	0	0
		地域貢献枠推薦	若干名	0	0	0	0
		一般入試	2名	21	14	6	4
	ロボティクスコース	学校推薦	2名	0	0	0	0
		自己推薦	若干名	0	0	0	0
		地域貢献枠推薦	若干名	0	0	0	0
		一般入試	2名	3	2	1	1
	原子力安全工学コース	学校推薦	1名	2	2	2	2
		自己推薦	若干名	0	0	0	0
		地域貢献枠推薦	若干名	0	0	0	0
		一般入試	1名	6	5	5	5
電気電子情報 工 学 科	電子物性工学コース 電気通信システム工学コース	学校推薦	5名	2	2	2	2
		自己推薦	若干名	0	0	0	0
		地域貢献枠推薦	若干名	0	0	0	0
		一般入試	5名	7	6	5	3
	情報工学コース	学校推薦	5名	1	1	1	1
		自己推薦	若干名	0	0	0	0
		地域貢献枠推薦	若干名	1	1	0	0
		一般入試	5名	23	19	13	11
建築・都市環境工学科	学校推薦	3名	4	4	3	3	
	自己推薦	若干名	0	0	0	0	
	地域貢献枠推薦	若干名	1	1	0	0	
	一般入試	7名	16	11	8	5	
物質・生命化学科	学校推薦	若干名	5	5	5	5	
	自己推薦	若干名	1	1	0	0	
	地域貢献枠推薦	若干名	0	0	0	0	
	一般入試	若干名	7	2	0	0	
応用物理学科	学校推薦	若干名	0	0	0	0	
	自己推薦	若干名	0	0	0	0	
	地域貢献枠推薦	若干名	0	0	0	0	
	一般入試	若干名	2	2	1	1	
計	学校推薦	18名	16	16	15	15	
	自己推薦	若干名	1	1	0	0	
	地域貢献枠推薦	若干名	2	2	0	0	
	一般入試	22名	85	61	39	30	
	計	40名	104	80	54	45	

# 福井大学位置図



両キャンパスを結ぶ連絡バスで移動できます。(約30分)



**■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路**

- 鉄道 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

**■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路**

- バス 福井駅(約10分)→福井大学前下車 [福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅→福大前西福井駅下車 [福井駅東口から出て三国芦原線で約10分] \*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅(約10分)→福井大学文京下車 [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km 福井ICから国道158号線で西へ約8km

**■松岡キャンパス【医学部】への経路**

- バス 福井駅(約35分)→福井大学病院前下車 [福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅→松岡下車 バスに乗り換え約5分 [福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス] \*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅(約30分)→福井大学松岡下車 [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km \*標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

## 福井へのアクセス

- 大阪・京都方面から**
- 電車 大阪・京都→湖西線経由→福井 (特急・新幹線で、京都から約1時間15分、大阪から約1時間45分)
  - 自動車 大阪・京都→<名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC (京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
  - 高速バス 大阪・京都→<名神・北陸>→福井 (京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

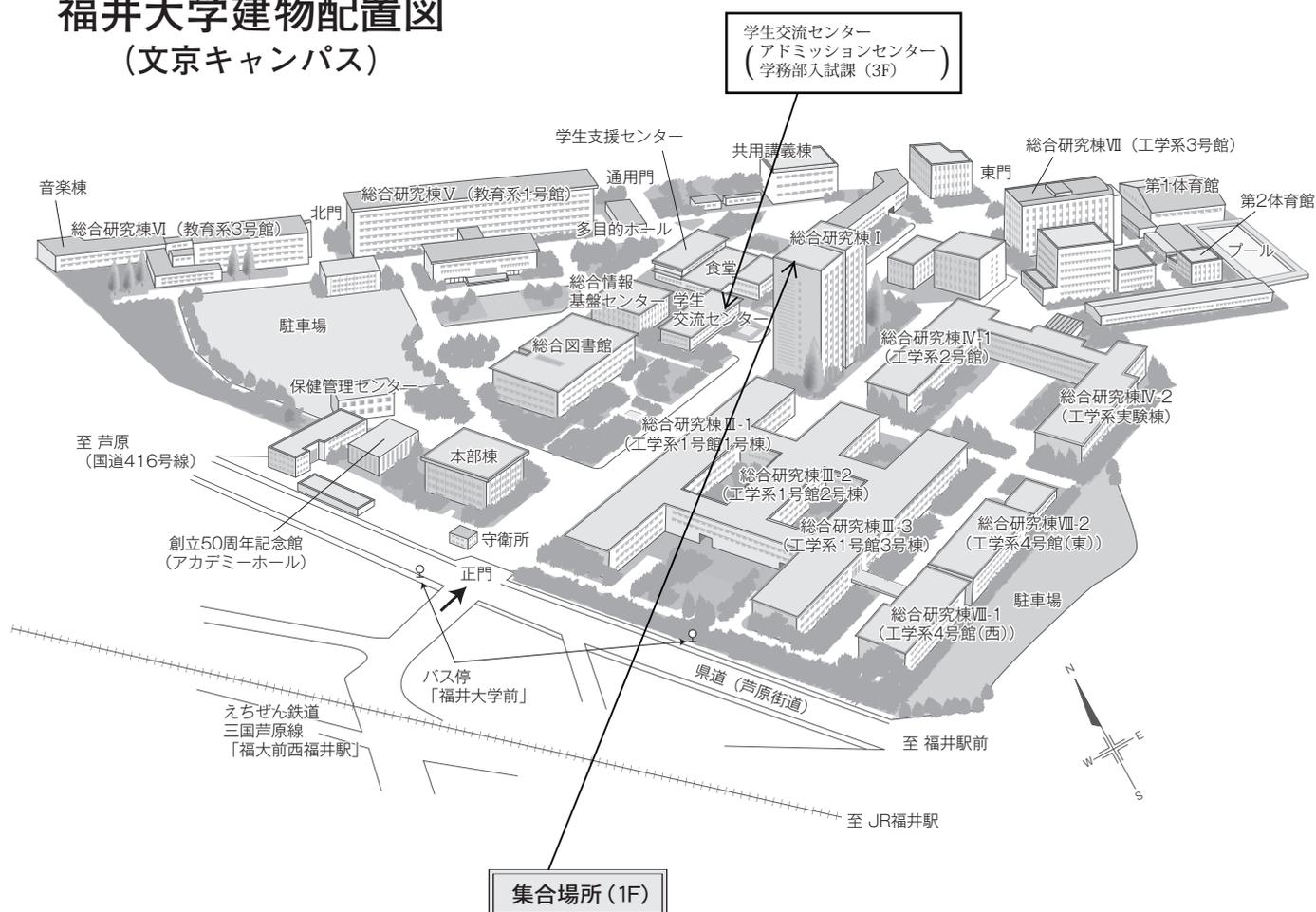
- 名古屋・静岡方面から**
- 電車 名古屋・静岡→米原経由→福井 (名古屋から新幹線・特急で約1時間30分)
  - 自動車 名古屋→<名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC (約2時間)
  - 高速バス 名古屋→<名神・北陸>→福井 (約2時間50分)

- 東京方面から**
- 飛行機 東京羽田→小松空港(1時間)→福井(連絡バス1時間)
  - 電車 東京→米原経由→福井(新幹線・特急約3時間30分) 東京→金沢経由→福井(新幹線約2時間50分)(直通)
  - 自動車 東京→<東名・名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC (約6時間30分) ※高速バスもあります。

- 金沢・新潟方面から**
- 電車 金沢・新潟→福井(金沢から新幹線で約20分)
  - 自動車 金沢→<北陸>→丸岡→福井北JCT・IC(約1時間)



# 福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



## 《受験に関する問い合わせ先》

### 福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

#### <注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。  
〔福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>〕
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。